

・ボブ・マーリーは音楽を通して世界を一つにさせた。

ボブ・マーリーとギルドのコラボレーションは、
世界を変えた名曲に使用されたギター現代に再現し、
彼の意思を未来へ繋げていくために誕生しました。

私たちは今を生きるミュージシャンがこのギターで、彼のような名曲を生み出す事を願っています。ONE LOVE

P3. 目次

P5 ボブのマデイラ A-20

P11 復刻までの長い道のり

P15 ひとつの愛 家族が語るボブの遺志

P17 音楽への愛

P18 愛する大地のために

P19 "Three Little Birds" ギターコード譜

P21 発売されているボブ・マーリーのギター譜ブック

ボブのマデイラ A-20

この有名な写真でボブ・マーリーが手にしているギターは、彼が愛用していたギルド・マデイラA-20です。この象徴的なアコースティックギターは、ジャマイカのキングストン56 HopeRoadの自宅で作曲に使用していたギターでした。ボブの側にはいつもそのギターがあり、リビングやキッチン、時には中庭に持ち出して曲作りをしていました。70年台まではその頼りになるギターでのセッションによって、数々の名曲が生み出されました。

ボブ・マーレーグループのCEO セデラ・マーリー（ボブの第一子）は

“どこへ行くにも父のそばにはギターがあったのを思い出したわ。私たちが近くに座っていても、テレビを見ている時も必ず父はギターを手にしていたわ。”と思い出を語ります。

ボブが愛用した実機のマデイラの所在は残念ながら不明ですが、

調査によると1974年頃に日本で製造されたA-20モデルでした。

フラットトップ、ヘッドストックシェイプ、大きめのピックガードデザイン、（写真が撮られた）1976年にはそのギターを持っていたこと、そして彼のギターはシリーズの生産ラインの初期モデルということがわかりました。

マデイラシリーズ

1970年台までギルドは世界中でアコースティックギター、エレクトリックギターのトップブランドの1つとして君臨してました。

マデイラは当時、GUILDの子会社にてセカンドブランドのアコースティックギターを生産していたモデルの一つです。ギルドが生産拠点をロードアイランド州のウエスタリーに置いている間は、マデイラの生産は日本で行われ1970年台半ば以降まで続きました。1970年台後半に生産拠点が韓国に移され、1980年台当初にマデイラは生産完了になりました。

品番について

ボブのA-20を含む マデイラの "A"シリーズはスチール弦、ドレッドノートサイズのアコースティックギターを意味します。

マデイラは品番の最後を "R"はROSEWOOD, "S"はSOLID SPRUCE TOPというように製品仕様に使ってました。

品番の最後が "S"で終わっていない限り、ほぼすべてのマデイラのギターは合板製と考えられます。

品質

当時のマデイラはGUILDアメリカ工場と同じブレイジングパターンとボディーシェイプを採用し、非常に品質が良く作られていました

ボブ・マーリーの A-20はマデイラのみドルクラスで、トップはスプルース合板、バック&サイドにはマホガニー合板という仕様でした。

1975年当時は 220ドルで値付けされていましたが、現代(2021年)ではその価値が上がり、1,100ドルほどで取引されています。今日、市場には数本の当時のマデイラギターが存在しますが、それらはボブ・マーリーのファンや、GUILDコレクターの間で丁寧に保管されています。

ボディに貼られた写真

ボブのマデイラギターの注目すべき特徴の1つは、彼のギターの表板にテープで留められたハイレ・セラシエ1世の写真です。

ラスタファリの救世主としても知られるセラシエは、エチオピア帝国 最後の皇帝でした。

彼の写真の下にはH.I.Mの文字 "His Imperial Majesty" 「皇帝陛下」の略があります。ボブ・マーリーはセラシエの支持者として知られており、ステージで彼の旗を掲げて演奏することもありました。

また、SO JAH SEH (マーリーの「NattyDread」アルバムの曲) と「アフリカは1983年までに解放されなければならない」と書かれたアフリカの地図が確認できます。

P.11 復刻までの長い道のり

ボブ・マーリーのマデイラの復刻が再考された

ボブの実物のマデイラA-20が所在不明の為、ボブの愛するマデイラA-20を再現する為にギルドの製品開発チームはマデイラギターの豊かな歴史の研究から始めました。

製品開発チームは最も近いモデルを見つけるために最善を尽くしました。

製品開発のディレクターであるホセ・チャンプマンは、実物のマデイラA-20の再設計を実現するためにあらゆる対策を講じました。

「ヴィンテージモデルを復活させてみせる」とチャンプマンは語った。

「特にボブ・マーリーにとっても愛されていたこのモデルが持つ魅力をできるだけ再現することが重要だとわかっていました。実物を手に入れるのが難しい以上、オリジナルのA-20の特徴と感触を理解し、再現するには、ヴィンテージのギターを手に入れる必要があることは明らかでした。」

チームは、マーリーのA-20と特徴が一致するいくつかのヴィンテージギターを分析することができました。彼らはギターの内側と外側を細かく調べ、スペックを記録し、その演奏性をテストしました。

「それは、新しい標本を研究する博物館の様でした」とチャンプマンは言いました。「大きな発見の1つは、分析したギターの音が本当に良かったことです。長い年月を感じさせない非常に良いコンディションでした」

その後、チームはギターの内部を調査し、プレーシングがオリジナルのギルドの図面と一致することを発見しました。

その後、オリジナルのギターの各コンポーネントを注意深く取り外して分析しました。

彼らは、ロゼッタ、バインディング、フレット、ドットインレイ、ブリッジの形状、ピックガードの形、ヘッドストック形状のすべての詳細を写し取りました。

今回の再現では、現代のプレイヤーに合わせいくつかの大きな改善を加えました。V字型のネックシェイプをモダンなUネックシェイプに変更し、古い“アジャスタブル”メタルサドルではなく通常のボーンサドルを使用し、トップ材は合板ではなく単板を採用しました。

シグネチャースタイル

ギターの大部分は本物の仕様に近づけました、ギルドチームはボブ・マーリーに敬意を表するためにいくつかのサインをギターに追加したいと考えていました。「このギターを生産する意味の一つは、ボブの遺志を広く世の中に広げることでした」とギルドギターの社長であるジョン・トーマスは言います。

「非常に多くの人々に音楽を広めた、彼の名前をギターに入れたかったのです。」

製品チームはマーケティング部門と緊密に連携して、いくつかの創造的なソリューションを開発しました。その結果、12フレットの美しいパーロイド製の『MARLEY』スクリプトインレイが完成しました。

ピックガード

特に目立つ独特な形状のマデイラピックガードは、マデイラシリーズのギターにのみ搭載されています。この形状を採用し、さらに特別な変更として、ボブ・マーリーのサインを下側にゴールドインクで追加しました。

ヘッドストック

ボブのA-20マデイラで最も特徴のない形状の1つは、ヘッドストックです。ブランドの歴史を通して、ギルドのギターは上向きアーチで作られた非常にわかりやすいヘッドストックの形状を持っていることで知られています。1970年代、マデイラシリーズは、フラットで丸い角のある形状という、アプローチを採用しました。何年にもわたる生産の中で、ヘッドストックの形状はフラットからアーチ型に、そして米国で製造されたギルドアコースティックにさらに似た形状に洗練されました。マーリーのA-20のリイシューモデルでは、ギルドはボブのオリジナルを忠実に再現するために、平らで角の丸い形を選択しました。

クレスト

オリジナルのマデイラのサウンドホールラベルにあるギルドヴィンテージの書体が、マーリーのヘッドストックに選ばれました。「このギターは誇らしく、まさしくギルドを象徴するモデルです。」トーマスは言った。「ヘッドストックにそれを示したかったのです。」

この筆記体ロゴがギルドのヘッドストックに使用されたのは、ブランドの歴史上初めてのことです。

トラスロッドカバー

マーリーのマデイラのもう1つのユニークな点は、トラスロッドカバーに付いている小さな「m」です。この文字は、「マデイラ」のロゴの「m」を表しています。ユニークなシンボルもリイシューに含めました。

リサイクルナイロンバッグ

追加の特典として、ギルドチームは、マーリーギターに付属するギグバッグを特別に設計しました。ギルドが再生可能資源の利用に尽力している活動の一環として、リサイクルナイロン製のギグバッグを設計しました。マーリーのギグバッグは、ボブ・マーリーの地球への愛とともに、ギルドの未来を繋ぐ考えの象徴と言えます。

遺志を継承する

「このギターは、若い世代が、ボブマーリーの音楽とメッセージについて学ぶ扉を開きます」と、ギルドの親会社であるコルドバミュージックグループのCEO / 創設者であるティムミクラウチックは言います。

「私たちはこのギターを非常に誇りに思っており、マーリー家と緊密に協力する機会を与えられたことを光榮に思います。」

Marley X Guildのコラボレーションの詳細については、[www.guildguitars.com / marley](http://www.guildguitars.com/marley)のビデオをご覧ください。

ONE LOVE-ひとつの愛- / 家族が語るボブの遺志

ジギー・マーリーとセデラ・マーリーがギルド・ギター・コラボレーションと彼らの父親の現代に受け継がれる遺産について話し合う

ギルド(以下 G) お父さんがギターを弾いていた思い出はありますか？

ジギー・マーリー(以下 ZM) パパはいつもギターを弾いていた。ただ楽しむために…遊びで、セッションも。寝室やベランダで。ボブはギターを弾くのが大好きでした。いつもね。

セデラ・マーリー (以下 CM) 父は、シャロン、ステファン、ジギー、そして私に音楽を始めるように勧めた人でした。Melody Makersとして私たちが最初に歌った曲は彼が書いたもので、父がスタジオでギタートラックを収録していたのを覚えています。父のコンサートで私たちはグループとして最初のコンサートをしました。そしてそれは私たちにとって本当に特別な瞬間でした。

G; あなたのお父さんは、音楽的にもそれ以外にも、信じられないほどの遺志を持っています。彼の遺志のどの部分を最も誇りに思っていますか？

CM; 世界に不正があることを知っているときに決して静かにとどまらないこと。パパは人々のために真実を訴え続けたから、メッセージは年齢、世代、人種、性別を超えて支持されています。パパは声なき人の声でした。境界、階層、分割のない世界を望んでいました。私たち全員が今も努力していつかはそのようになると期待しています。

G; あなたたちは発展途上国の音楽教育のサポートに尽力されていますね。発展にとって音楽はどのように重要だと考えますか？

ZM; 音楽は人々を結びつけるものです。それは心を広げます。特に子供のために。脳も体も刺激します。音楽は人類の進化に非常に不可欠です。

G; この新しいシグネチャーギターはいかがですか？

ZM; 70年代のボブのギターの1つは、ギルド マデイラのアコースティックギターでした。これは、いくつかの素晴らしい要素が追加されたそのギターの再現です。見た目も良いですが、最も重要なのは音が良いことです。ボブはこのギターの音を本当に楽しんでくれると思います。

G; ボブは彼のキャリアを通して多くのギターを弾きました。なぜ今回ギルドにボブのギターの再現を依頼することにしたのですか？

ZM; 最高の仕事を期待していたのでギルドを選びました。また、世間で知られるボブ・マーリーを表すものの中で最高のものを期待していました。ギルドは歴史ある優れたギターメーカーで、私は当時ギルドを所有していました。私が今まで見た中で最高のギターでした！ですから、私たちは長い間ギルドを知っており、信頼しています。

G; このギターはあなたとマーリー家にとって何を意味しますか？

CM; このギターは、パパの音楽が今日私たちにどのように影響を与え続けているかを考えさせてくれると思います。ミュージシャンは、表現と創造性的手段として、独自の方法で楽器を演奏します。新世代のアーティストがこの特別な音と音色を自分で体験する機会があるという事実は、私たちの家族にとって大きな意味があります。

ZM; それはボブの音楽の哲学の続きです。彼の表現がどこに行っても、彼のメッセージは届くはずで。なので、ギルドと協力してこのギターを通して彼のメッセージを広める機会が得られたことをとてもうれしく思います。

音楽への愛

GUILDは音楽教育をサポートします

ボブ・マーリーの音楽への愛の遺志を引き継ぎ、ギルドはジャマイカのキングストンにあるアルファインスティテュートに楽器を寄贈し、音楽教育プログラムを支援しています。

1880年以来、アルファインスティテュートの使命は、教育とスキルトレーニングを通じて若者の能力開化と個人的な変革を行うことでした。アルファの学生は、特別な学問的および職業的カリキュラムに従って、関連するさまざまな雇用分野で全体的な発展とキャリアアップを生み出します。学生のほとんどは、社会的条件が非常に厳しい都心部のコミュニティに住んでいます。これらの学生は、音楽、学術、社会的支援を通じて、スキルとより持続可能な雇用機会を開発します。何年にもわたって、アルファのプログラムの学生は、ボブ・マーリー&ウェイラーズ、ステファン・マーリー、ダミアン・マーリーなどとの共演、レコーディングやツアーで彼らの音楽的才能を披露してきました。アルファインスティテュートの詳細については、www.alphainstitute.org.jmをご覧ください。

愛する大地のために

マーリーギターの製作ごとに1本の木が植えられています

ボブ・マーリーの大地への愛の遺志を引き継ぐ取り組みの一環として、ギルドは、マーリーのギターが作るすべての木を植えるために、One Tree Plantedをサポートしています。

One Tree Plantedは、植樹によって環境を支援することを手軽にすることを使命とする501(c)(3)非営利団体です。彼らのプロジェクトは世界中に広がり、地元のコミュニティや知識豊富な専門家と協力して行われ、自然、人々、野生生物に影響を与えています。森林再生は、火災や洪水の後に森林を再建し、社会的影響のための仕事を提供し、生物多様性を回復するのに役立ちます。多くのプロジェクトには重複する目的があり、国連の持続可能な開発目標 SDGs に貢献するメリットの組み合わせを生み出しています。

詳細については、www.onetreeplanted.comをご覧ください。